

MEIKAI-JOE PLUS 2023

前橋市立桂萱東小学校 3 年生

第10回 授業研究講座 「聞くこと、話すこと」
2023年8月17日

井熊ひとみ

MEIKAI-JOE プラス 2023 第10回講座

テーマ：「聞くこと・話すこと」

単元名： Unit 4 I like blue. 【好きなものをつたえよう】 (3/4 時間目)

教科書： Let's Try! 1

本時ねらい： 【相手の好きな色をきこう】

自分の好みの色を伝えるために、「めあてステップ」を活用し
本時のめあての設定や振り返り、目的意識を持たせるために
インタビューゲームを取り入れたことは有効であったか

協議テーマ：

「めあてステップ」は、児童が単元ゴールに向かって見通しをもち、外国語活動の主体的に取り組むことができることに有効であったか。

「教師とのやりとり」が児童の本時のめあてに向かおうとする姿に有効に働いたか

研究授業のふりかえり

Opening

Routine Questions : 気分・天気・曜日のスムーズな進行 (自然な速度)

- Song
- 1 Hello Song
 - 2 Seven Steps (1~7・7~1などのバリエーション)
 - 3 COCONUT song (文字に慣れ親しむ身体を使った活動)

Today's Goal

今日何をめあてに行うのかを児童と共有
⇒ 前時のふりかえり (発表) ⇒ 本時の目標へ

導入から

- ① Routine Question から songのW/UPがスムーズな進行 ⇒ ナチュラルスピードで練習
Accuracy < Fluency (児童期の学習にとって)
- ② めあての共有は、子どもたちといっしょに。 ⇒ 「めあてステップ」の可視化した共有
- ③ 本時に児童が自分で取り組む学習をていねいに導き出す。 ⇒ 児童自身が何をするのか理解

Activity

コミュニケーション活動①Do you like yellow?		⇒	全体活動
コミュニケーション活動②アイスクリームゲーム	⇒	グループ	⇒ ペア活動
コミュニケーション活動③Interview Game		⇒	ペア活動

活動から

- ①本時の**めあての共有**を児童と行い、**全体練習** ⇒ (先生vs児童全体) 回数⇒定着へ
- ②グループでアイスクリーム**ゲーム**でターゲットセンテンスのやりとり⇒ペアでのやりとり**練習**
- ③ワークシートをもってInterview Game ⇒ ペアの活動で「やりとり」**定着⇒発展へ**
- ④活動の合間の、中間支援⇒ よいモデルの提示・リアクションを積極的に。
相手意識をもって尋ねること、答えることが、**どういう結果につながるか**を子どもの目線で。
めあてに向かって取り組む姿と、何ができたかをふりかえるPDCA (授業改善・学習改善)

まとめ

- ① この単元目標「話すこと（やりとり）」に即した先生の明確な表現力（発声・英語・指示語）
- ② やりとりを行ううえでのジェスチャー・あいづちなどは、**普段の授業からの積み重ね（場面）**
- ③ 児童に学習の目的が理解できるような指導者の導きと**児童にとっての必然性の一致**
- ④ 中間支援をていねいに行うこと 指導者の導きから児童が承認（他者尊重）
- ⑤ 次回の授業への目標は、子どもたちにとって**期待感**があるか（本時の「できたこと」共有）

提案として：

- ① Routine Questions とW/UP のスムーズな進行とテンポ ⇒ **バリエーション**を増やせる可能性
- ② Teacher Talk（先生の指示語 **英語⇒日本語補足**） Classroom Englishの充実（**児童の反応**）
- ③ 「やりとり」をめあてに活動を行うT1とT2の会話から**児童が推測**する効果 **教える<学ぶ**
- ④ めあてである自分の好きな色を表現すること、相手の好きな色を尋ねる方法を定着し、たずね合う（やりとり）の理由が子どもたちに理解できている
- ⑤ 先生を中心とした、**年齢に即した授業内容** ⇒ **身近な人、話題**、⇒子どもたちが取り組みやすい
- ⑥ 協議したい内容についての条件を満たした授業⇒必ず児童に目をむけて、**発問を適宜選択**しながらフィードバックしていく指導と、子どもたちがそれについていくクラス運営
Teacher centered lesson < Students centered lesson
- ⑦ **達成感を伝え合い、共有**できる ⇒ ふりかえりのていねいさ（前時の自分と比較） ⇒ 次への期待感を共有しながら、本単元の目標を達成する進行が期待できる